

## 第9回年次大会

◎統一テーマ：『海洋政策をめぐる日本と世界の動向』

◎日時：2017年12月2日(土) 9:30~17:45 (交流・懇親会 18:00~)

◎場所：東京大学 小柴ホール(本郷キャンパス 理学部1号館2階)

◎プログラム

- 9:30 開会挨拶 日本海洋政策学会会長 奥脇 直也
- 9:35 基調講演  
「第3期海洋基本計画の策定に向けて」 羽尾 一郎 (内閣府総合海洋政策推進事務局長)  
「SDGs14<海の豊かさを守ろう>と日本の科学技術外交」  
角南 篤 (笹川平和財団海洋政策研究所長)
- 10:30 研究発表(その1) 【座長：松田 裕之(横浜国立大学)】  
「大陸棚境界画定紛争解決における共同資源開発協定と裁判の位相—東チモール・オーストラリア大陸棚境界画定紛争を中心に—」 大河内 美香 (東京海洋大学)  
「公海における生物資源保護のための戦略と実効性確保を巡る課題—OSPAR条約とナウル協定の比較考察」 小林 正典 (笹川平和財団)  
「海洋保護区の設定に関する国際協力の動向：南極海の事例」  
大久保 彩子 (東海大学)
- 11:45~12:20 第9回 定例総会(会員)  
<12:20~13:40 休憩・昼食>
- 12:50~13:30 ポスター セッション (場所：小柴ホールロビー予定) (発表者は次頁参照)
- 13:40 研究発表(その2) 【座長：岡 英太郎(東京大学)】  
「里海の適応的管理への包括的富指標の適用可能性について」  
太田 貴大 (長崎大学)  
「我が国周辺海域における船舶自動識別装置(AIS)をめぐる外国漁船の動向」  
松本 浩文 (水産大学校)  
「諸外国の海洋石油・天然ガス開発に係る環境影響評価について」  
那須 卓 (エンジニアリング協会)  
「海洋保護区政策からみた福岡県宗像沖ノ島と関連遺産群の世界遺産指定」  
清野 聡子 (九州大学)
- <15:15~15:35 休憩>
- 15:35 パネル・ディスカッション：テーマ【第3期海洋基本計画への期待】  
モデレータ：兼原 敦子 (上智大学教授)  
パネリスト：浦辺 徹郎 (次世代海洋資源調査技術担当ディレクター)  
日比谷 紀之 (東京大学教授)  
宮原 正典 (水産研究・教育機構理事長)  
吉村 隆 (日本経済団体連合会産業技術本部長)
- 17:35 閉会挨拶 日本海洋政策学会副会長 寺島 紘士
- 18:00 交流・懇親会 … 小柴ホール前ロビー (会費制)

◎ポスターセッション

12:50~13:30

(敬称略、順不同)

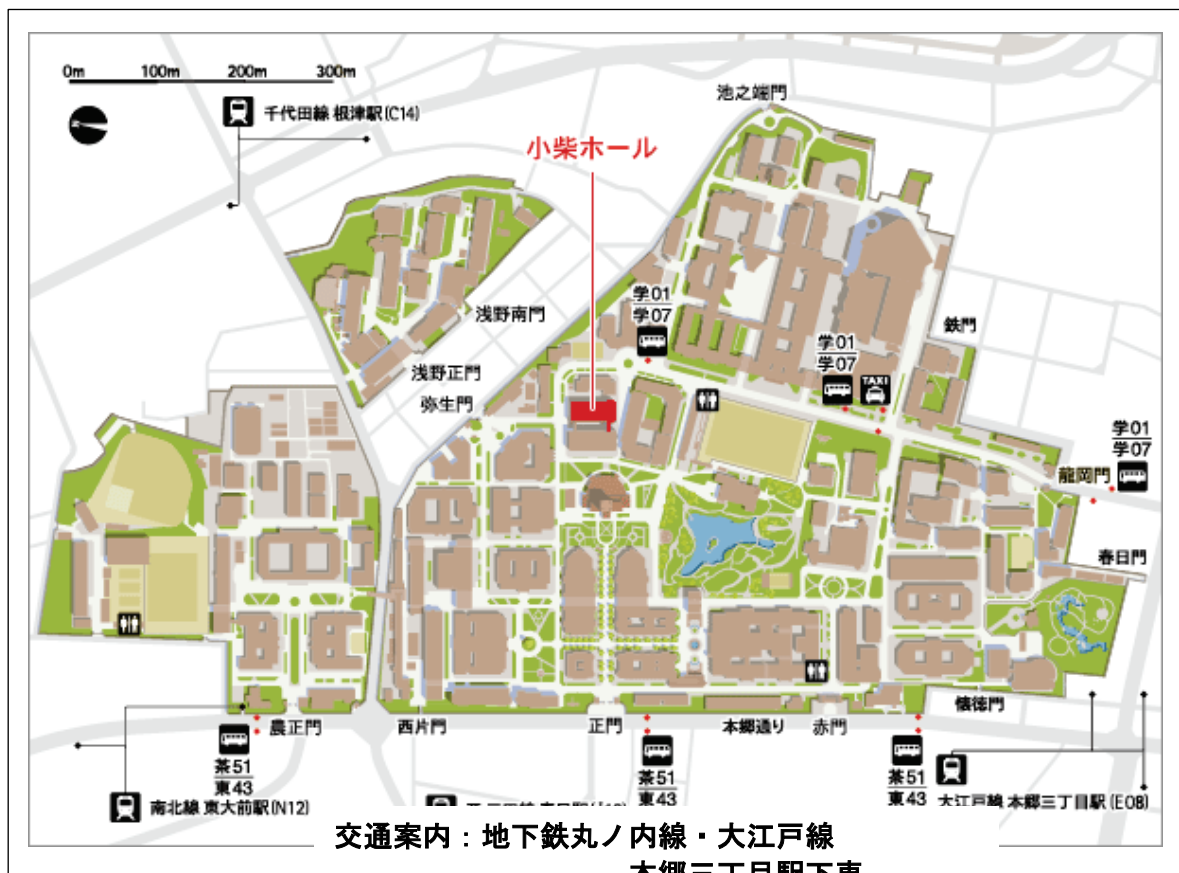
- 「ナウファスを活用した沖合の地震に伴う長周期海面変動観測 (2016年福島沖地震の事例)」  
永井 紀彦 ((株) エコー)
- 「洋上風力発電導入に係る合意形成に関する検討」  
須田 紗耶加 (東京大学)
- 「海と川からごみをなくすために」  
仲井 圭二 ((株) エコー)
- 「IMOにおけるGBSレジームの予備的検討 —船舶構造規制をめぐるパブリック・プライベート間のつなひき」  
坂井 伸行 (東京大学)
- 「包括的富指標を用いた里海サステナビリティ評価に資する具体的な資本・ストック指標の検討: 長崎県大村湾の沿岸域管理活動を事例として」  
山本 理央 (長崎大学)
- 課題研究「海洋政策学的アプローチを用いた地方沿岸域の活性化に向けて」  
神田 穰太 (東京海洋大学)
- 課題研究「海洋・宇宙の産学官連携方策に関する研究—海洋の総合管理にむけて—」  
廣野 康平 (神戸大学)
- 課題研究「海洋基本計画&年次報告研究」  
中原 裕幸 (横浜国立大学)

◎参加費: 年次大会 学会員 3,000円 非会員 5,000円 (学生会員無料、学生非会員1,000円)  
(日本沿岸域学会員の方は会員価格で参加できます)

交流・懇親会 一般 5,000円 学生 2,000円

◎参加申込: 当学会のホームページ上から所定の申込書を利用してお願いいたします。  
(<http://oceanpolicy.jp>)

〆切 11/20 (月)



交通案内: 地下鉄丸ノ内線・大江戸線  
本郷三丁目駅下車  
地下鉄南北線 東大前駅下車  
地下鉄千代田線 根津駅下車